

物事をうまく進めるにはどうすればよいか？ それには、正確なデータに基づいて、今の実情を把握し、しっかりと計画を立てて、実行する事が大切だと思います。

そのためには、過去の同じような施策に学ぶことは、大変貴重であり、まずはしっかりとした検証を行い、問題点を抽出して、同じ失敗を繰り返さない事が重要です。

今、議論になっている医学部の定員減の問題は、将来の医師過剰時代に備えて、今のうちから医学部の定員を減らしておこうという議論です。でも、以前にも確か、そんな議論があったような気が...

に入学した25年ほど前も同じ議論がされ、一時期、医学部の定員が、減らされた記憶があります。その頃言われたのは、「将来、医師が過剰な時代となり、医師の人員費が、国の財政を圧迫するようになる」といわれる

「医師亡国論」でした。ところが、今、現在、どこにも過剰な医師はおらず、どの医療機関も地域も、慢性的な医師不足です。つまり、私が医学部に入学したころの医学部定員減は、結果として間違った施策であったと

言えます。そのツケが今の医師の過剰な労働環境に結びついているわけで、当時の施策がなぜ失敗し、今回その失敗をいかに生かしていくかが、非常に大切ではないでしょうか。

ば虚偽の報告をしても、隠蔽ではありません」というお国のものなのでは。予測はあくまで予測であって、現実には医師は不足しているのに、将来医師が増え過ぎたらどうしようとい

余ってしまうので、今のうちから対策を立てましよう」と言っているように思えて現実味がありません。現在の医師不足に対応するため、女性のキャリアアップのための

が押し寄せ、夜間や救急医療が地域の人々に供給できない事態となつています。このような不確定要素が多い中、女性医師の環境整備ができれば、これだけの女性医師が現場で働ける

としました検証を行い、将来の心配より、まずは現状の改善に重きをおいた施策を実行していただきます。と切に願います。まだ実行されていない女性医師の環境整備や、まだ始まっていない医師の働き方改革が待ち受けている中、

医師の診療科や都市部への偏在をなくせば、これだけ地方に医師を供給できると予測して

も、それは机上の空論です。将来のビジョンと現在の問題を解決する事は、確かに同時進行しないとイケないところがあります。しっかりと

としました検証を行い、将来の心配より、まずは現状の改善に重きをおいた施策を実行していただきます。と切に願います。まだ実行されていない女性医師の環境整備や、まだ始まっていない医師の働き方改革が待ち受けている中、

医師の診療科や都市部への偏在をなくせば、これだけ地方に医師を供給できると予測して

も、それは机上の空論です。将来のビジョンと現在の問題を解決する事は、確かに同時進行しないとイケないところがあります。しっかりと

としました検証を行い、将来の心配より、まずは現状の改善に重きをおいた施策を実行していただきます。と切に願います。まだ実行されていない女性医師の環境整備や、まだ始まっていない医師の働き方改革が待ち受けている中、

医師の診療科や都市部への偏在をなくせば、これだけ地方に医師を供給できると予測して

も、それは机上の空論です。将来のビジョンと現在の問題を解決する事は、確かに同時進行しないとイケないところがあります。しっかりと

としました検証を行い、将来の心配より、まずは現状の改善に重きをおいた施策を実行していただきます。と切に願います。まだ実行されていない女性医師の環境整備や、まだ始まっていない医師の働き方改革が待ち受けている中、

医師の診療科や都市部への偏在をなくせば、これだけ地方に医師を供給できると予測して

も、それは机上の空論です。将来のビジョンと現在の問題を解決する事は、確かに同時進行しないとイケないところがあります。しっかりと

わたしの主張

医学部定員問題。まずは、しっかりとした検証から！

(理事 今村 洋一)